

# 取り付けと接続

## NVX-M7000

Sony Corporation ©2001 Printed in Japan

本機の接続コードの色は、JEITA\*コードカラーに準拠しています。

\* JEITAは、電子情報技術産業協会の略称です。

### 販売店様へのお願い

本機取り付け後、この「取り付けと接続」は、必ずお客様へご返却ください。

本機の動作には、車速センサーとバッテリー電源(常時電源)への接続が必要です。



## 目次

⚠警告 安全のために .....	2
付属部品の確認 .....	4
取付場所の確認 .....	6
① ナビ本体を取り付ける .....	6
② コネクションボックスを取り付ける .....	8
③ ナビ本体と接続する .....	8
④ コネクションボックスと接続する .....	9
⑤ リモコンを取り付ける .....	10
携帯電話やビーコンユニットとの接続について .....	10
各コードの接続について .....	11
⑥ 車両側と接続する(接続図全体) .....	12
⑦ モニターを取り付ける .....	14
⑧ GPSアンテナを取り付ける .....	16
⑨ TVアンテナを取り付ける .....	17
⑩ 音声認識マイクを取り付ける .....	21
⑪ コードを処理する .....	21
⑫ 車のエンジンをかけて、ナビを起動させる .....	22
故障かな?と思ったら .....	22

# 警告

# 安全のために

## 警告表示の意味

「取付接続説明書」および取扱説明書、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

### 注意を促す記号



火災



感電

### 行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



火災



感電

下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

## 本機はDC12Vマイナスアース車専用です

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。



禁止



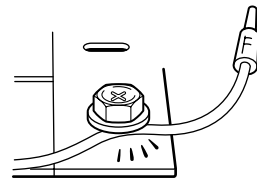
## 運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付ける

運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をする、事故や感電、火災の原因となります。

- ・ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
- ・コード類はまとめる。
- ・ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。



禁止

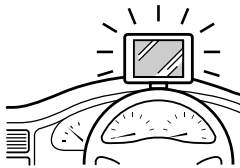


## 前方の視界を妨げる場所に取り付けない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。



禁止



## 雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない

上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。

## 助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付ける

動作の妨げになる場所に取り付けると、エアバッグが正常に働かず、けがの原因となります。



禁止



禁止



取り付け、接続作業をするときには、必ずイグニッションキーをOFFにするか、キーを抜いておく

イグニッションキーをONにしたまま作業すると、バッテリーあがりや、ショートによりヒューズ飛びや発煙などの危険があります。



禁止

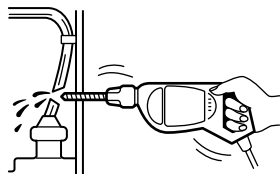


パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない

火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付けるときは、パイプ類、タンク電気配線などの位置を確認してください。



禁止



ステアリングやブレーキ系統、タンクなどにある車の性能を維持するための部品を使わない

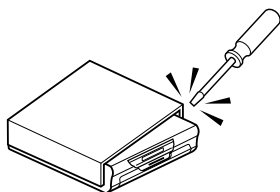
車体のボルトやナットを利用するとき、ステアリングやブレーキ系統、タンクなどの部品を使うと、制動不能や火災の原因となります。

分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源を取ると、リード線の電流容量を超えてしまいます。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

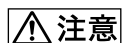


分解禁止



規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ず電源コードのヒューズケースまたは本体に記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



下記の注意を守らないとけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

安定した場所に取り付ける

振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。



禁止



TVアンテナは車体からはみ出さないように取り付ける

歩行者などに接触し、事故の原因となることがあります。



禁止

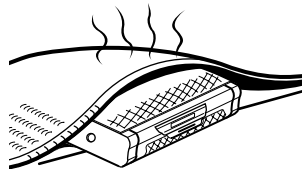


本機の通風口や放熱板をふさがない

フロアカーペットの内側やマットの下などに設置して通気口や放熱板などをふさぐと、内部に熱がこもり、火災などの重大事故の原因となります。



禁止

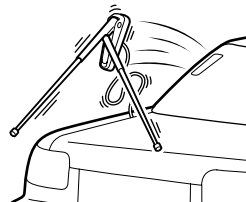


アンテナは確実に両面テープで固定する

車体や歩行者などに接触し、事故の原因となることがあります。



禁止



付属の部品で正しく取り付ける

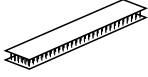
他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

## 付属部品の確認

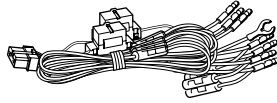
この「取り付けと接続」に記載されている取り付け先または接続先の機器は、すべて別売り品です。ただし付属品は除きます。

### ナビ本体

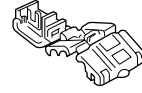
① マジックテープ(50cm)\*



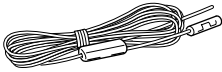
② 電源コード(ナビ本体用)



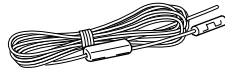
③ 圧着式コネクター×3



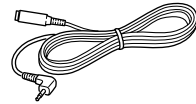
④ 桃色延長コード



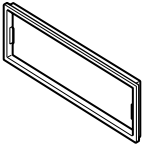
⑤ 紫/白延長コード



⑥ FMアンテナ延長コード



⑦ 日産専用プレート



⑧ 両面テープ(プレート用)(×2) ⑨ ⊕K5×8(×4) ⑩ ⊕T5×8(×4)



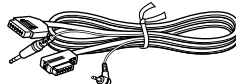
\* マジックテープ①は、①と②の作業に必要な分だけ切って使います。後の作業で足りなくならないように上手に配分してください。

### コネクションボックス

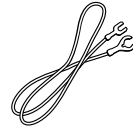
⑪ コネクションボックス接続コード



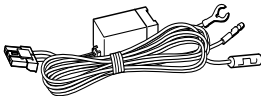
⑫ モニター接続コード



⑬ アースコード



⑭ 電源コード(コネクションボックス用)



### モニター

⑮ スタンド



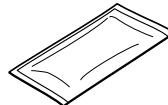
⑯ 固定用ネジ(×5)  
(予備2個含む)\*\*



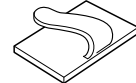
⑰ スタンドカバー



⑱ クリーニングクロス



⑲ コードクランパー  
(×10)\*

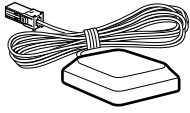


\* GPSアンテナ⑳の接続(⑧と⑪)と音声認識マイク㉑の接続(⑩と⑪)にも使います。後の作業で足りなくならないように上手に配分してください。

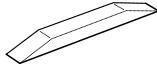
\*\* 予備のネジは大切に保管してください。

## GPSアンテナ

⑳ GPSアンテナ



㉑ クッション

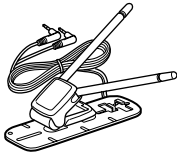


㉒ 取り付け板



## TVアンテナ

㉓ TVアンテナ(左1、右1)



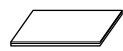
㉔ 台座(×2)  
(車内取り付け専用)



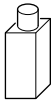
㉕ クリップ(×4)  
(車内取り付け専用)



㉖ 防水ゴム(×2) ㉗ 両面テープ(×2)



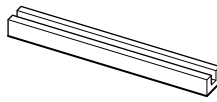
㉘ クリーナー液



㉙ 不織布



㉚ コードガイドレール(×2)



㉛ コードクランパー(×6)

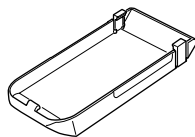


## リモコン

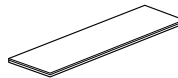
㉜ リモコン



㉝ リモコンホルダー

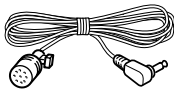


㉞ 両面テープ



## 音声認識

㉟ 音声認識マイク

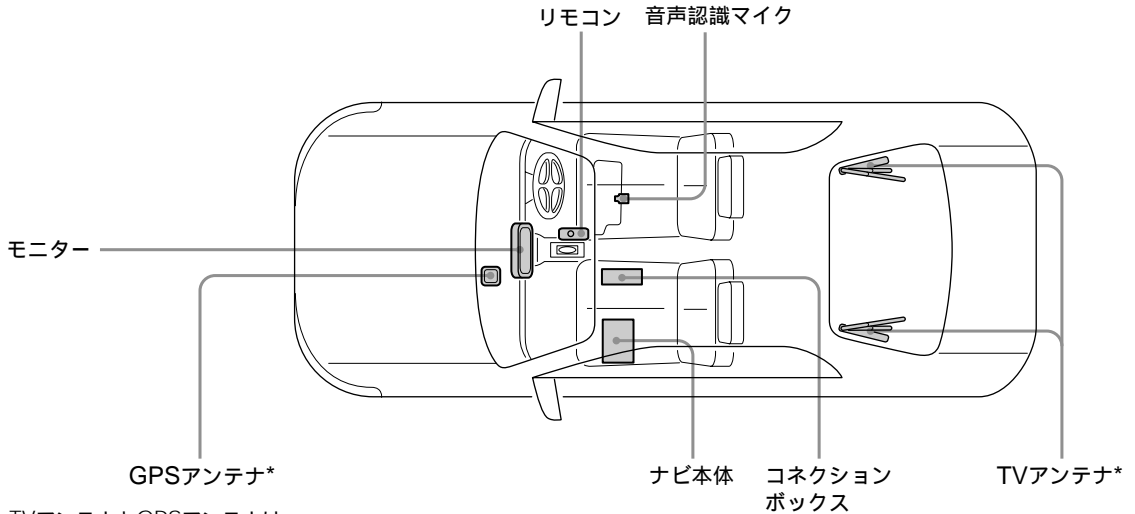


㊱ マイククリップ



## 取付場所の確認

下図のように取り付けられるかどうか、ご使用になっている車に合わせて各ユニットを配置してください。



\* TVアンテナとGPSアンテナは、車外に取り付ける場合と、車内に取り付ける場合の、2とおりする方法があります。(16～20ページ)

 **ご注意**

ユニット同士やコード類は離してください。

- ナビ本体とコネクションボックス
  - ナビ本体とモニター接続コード
- 近づけて設置すると、テレビ画面にノイズが出ることがあります。

**1** イグニッションキーをOFFにするか、キーを抜いておく

**2** 仮置きして(上図参照) ケーブルの長さやモニターの位置などを確認する

## 1

### ナビ本体を取り付ける

 **ご注意**

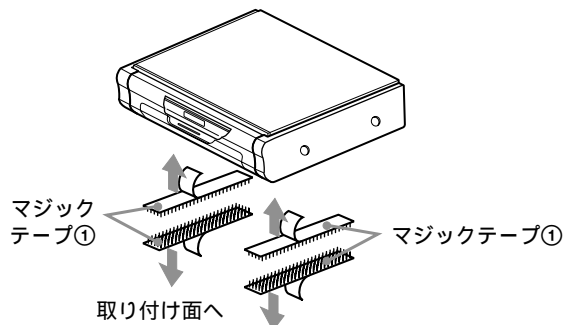
- 取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。
- 必ずマジックテープを使って、床面へ固定してください。
- 次のような場所への取り付けは避けてください。
  - 高温になるところ
  - 直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高いところ
- マジックテープは、底面中央の銘板を避けて貼ってください。

### 助手席の下やトランクルームなどに取り付ける場合

#### マジックテープ①を必要な分だけ切り、カーペットなどに取り付ける

次の点に注意して取り付けてください。

- 横置き位置で水平で5°以内にする(読み取り精度向上のため)
- 地図ディスクの出し入れがしやすいように

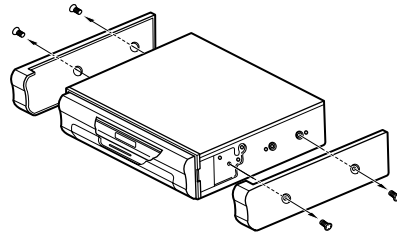


## センターコンソールやインダッシュに取り付ける場合

取り付けの際は、ナビ本体の両側にあるサイドパネルを取り外してください。取り外したサイドパネルとビスは大切に保管してください。

### ●●● ご注意

- 本機のフロントパネルのボタンなどを押したり、強い力を加えたりしないでください。
- 本機の上部に物をはさみ込まないでください。

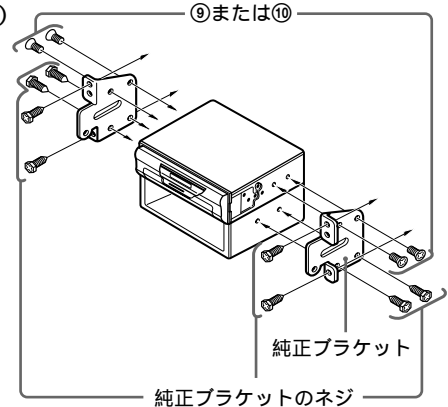


### トヨタ車/三菱車の場合 (イラストはトヨタ車の場合)

本機側面の「T」(トヨタ車/三菱車用)の刻印のあるネジ穴に純正ブラケットの取り付けネジ穴を合わせて付属のネジで取り付けてください。

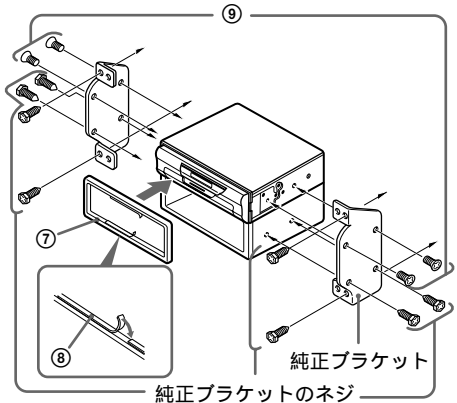
トヨタ車に本機を取り付ける場合は、皿ネジ⑨をご使用ください。

三菱車に本機を取り付ける場合は、トラスネジ⑩をご使用ください。



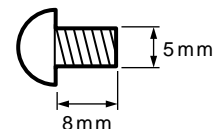
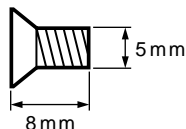
### 日産車の場合

本機側面の「N」(日産車用)の刻印のあるネジ穴に純正ブラケットの取り付けネジ穴を合わせて付属の皿ネジ⑨で取り付けてください。



\* 取り付けネジは、必ず付属の皿ネジ⑨またはトラスネジ⑩で取り付けてください。他のネジで取り付ける場合は、必ず次のサイズのものをお使いください。

これらより長いネジを使うと、ナビ本体内部が破損するなど故障の原因となります。



また、車両側の純正ブラケットを通さずに本体へ直接ネジをしめつけると故障の原因となります。

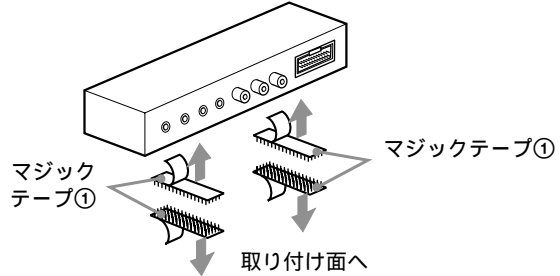
## 2

### コネクションボックスを取り付ける

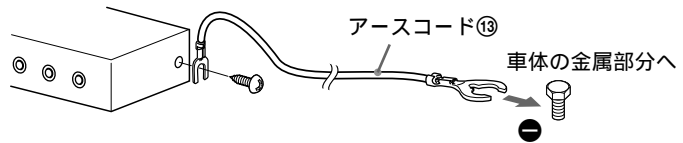
#### ●●● ご注意

- 取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。
- 次のような場所への取り付けは避けてください。
  - － 高温になるところ
  - － 直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高いところ
- マジックテープは、底面中央の銘板を避けて貼ってください。

マジックテープ①を必要な分だけ切り、カーペットなどに取り付ける



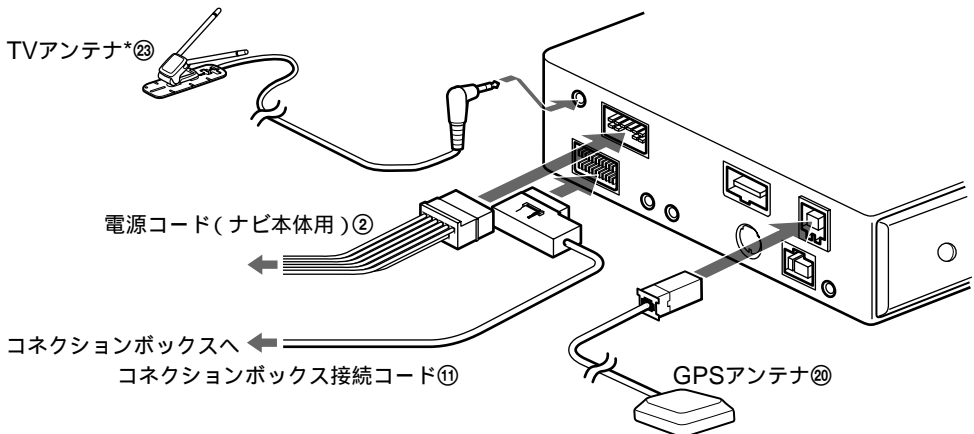
オルタネーターノイズが発生するときは  
オルタネーターノイズ(エンジン回転を上げたときのヒューンという音)が発生する場合には、アースコード⑬をコネクションボックス側面のネジで固定し、もう一方を車体の金属部分のビスに接続(アース)してください。



## 3

### ナビ本体と接続する

「[6]車両側と接続する(接続図全体)」(12ページ)もご覧ください。



#### ●●● ご注意

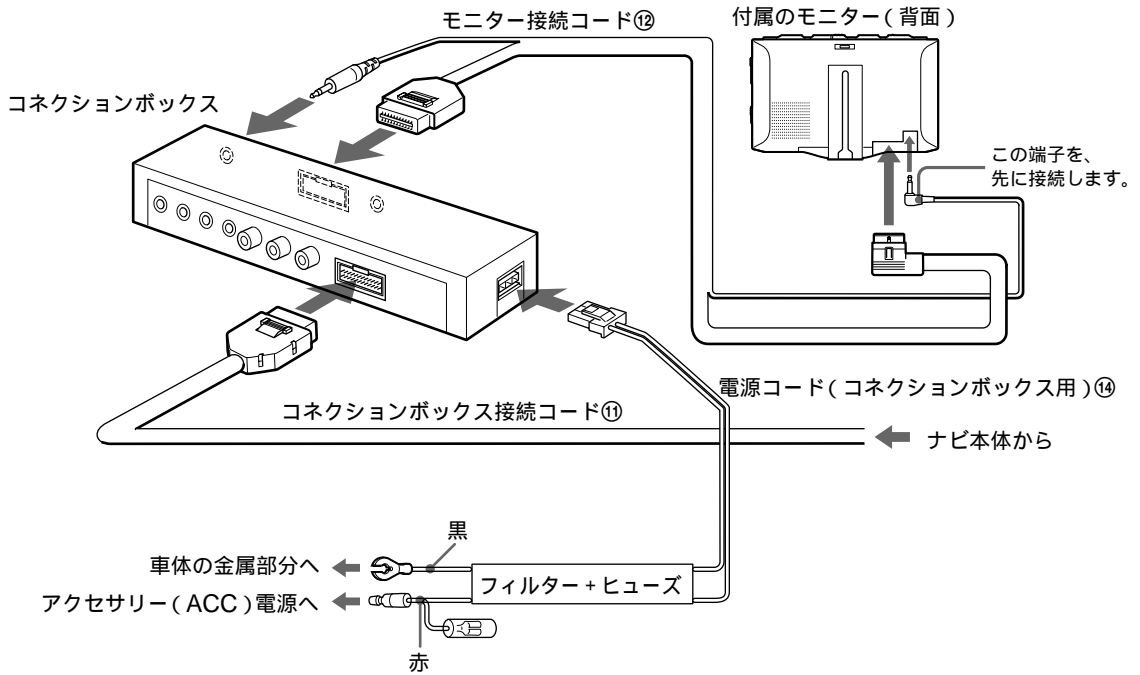
- \* TVアンテナの4系統のアンテナ入力の中の1本を使用してください。接続しないと、FM-VICSやFM多重放送を受信することができません。  
詳しくは、「TVアンテナを取り付ける」(17ページ)をご覧ください。  
また、FMアンテナVCA-14(別売り)なども接続できます。



# 4

## コネクションボックスと接続する

「6」車両側と接続する(接続図全体)(12ページ)もご覧ください。



# 5

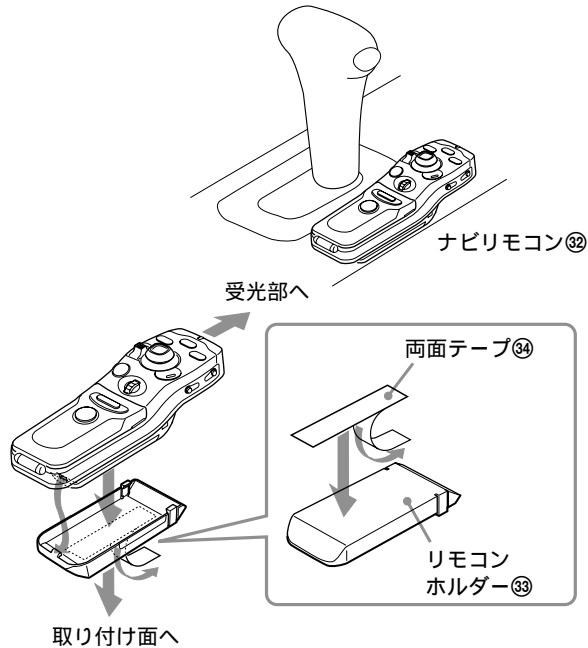
## リモコンを取り付ける

### ●●● ご注意

- 次のような場所への取り付けは避けてください。
  - シフトレバーやサイドブレーキなどの操作の妨げになるところ
  - 運転席、助手席のシートの前後、上下など可動部の妨げになるところ
  - ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の熱によって変形するおそれのあるところ
- 取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。

### 両面テープ<sup>③④</sup>で、リモコンと受光部が向き合うように取り付ける

- シフトレバーの脇などの操作しやすい場所に固定してください。
- 両面テープを取り付ける前に、リモコン操作が正しくできることを確認してください。



## 携帯電話やビーコンユニットとの接続について

### ●●● ご注意

- 携帯電話接続コードは、PDC用とcdmaOne用があるので、お使いの携帯電話に合うコードをお求めください。
- 一部のデジタル携帯電話は使用できないことがあります。詳しくは、お買い上げ店にご相談ください。

デジタル携帯電話

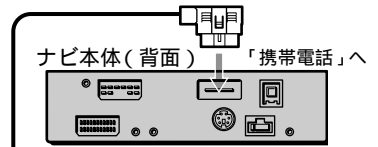
携帯電話接続コード(別売り)

RC-PD1(PDC用・4m) / RC-CD1(cdmaOne用・4m)

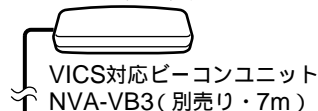


cdmaOne用の場合  
脱着する時は中央のPUSHボタンを押しながら引き抜きます。

脱着する時はこの左右のボタンを押しながら引き抜きます。(PDC用)



ビーコンアンテナ



VICS対応ビーコンユニット  
NVA-VB3(別売り・7m)



ビーコン接続用コード(0.6m)

## 各コードの接続について

くわしくは、「**⑥**車両側と接続する(接続図全体)」(次ページ)をご覧ください。

### ● ちょっと一言

右表にある車両側の各コードの位置は、取り付ける車両によって異なりますので、「ソニーFAXインフォメーションサービス」(裏表紙参照)をご利用になるか、お買い上げ店にご相談ください。

正確な測位、または安全のため、圧着式コネクタを使用して各コードを接続します。各コードの組み合わせについては、以下の表を参照してください。次ページの「**⑥**車両側と接続する(接続図全体)」もあわせてご覧ください。

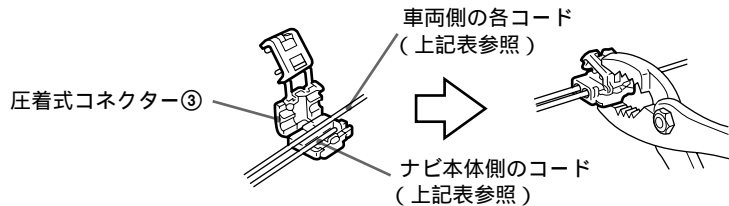
(本機の接続コードの色は、JEITAコードカラーに準拠しています。)

ナビ本体側	車両側
桃色(車速信号入力)コード	車速センサーコード
紫/白色(バック信号入力)コード	バックランプの電源コード
若草色(パーキングブレーキ)コード	パーキングブレーキスイッチコード

### ● ● ● ご注意

車両側の各コードが細い場合、接触が不十分になることがありますのでご注意ください。

### 圧着式コネクタ③の使いかた

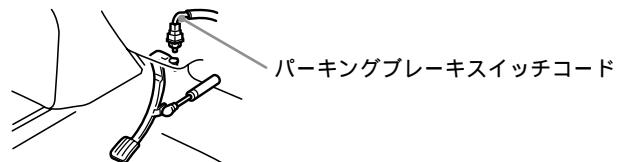


### パーキングブレーキスイッチコードの位置について

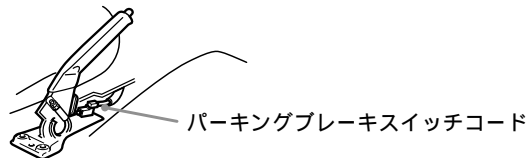
パーキングブレーキスイッチコードの位置は車両によって異なります。

下図は代表的な例ですが、詳しくはお買い上げ店にご相談ください。

パーキングブレーキがフットブレーキの場合



パーキングブレーキがハンドブレーキの場合



### ナビ機能をよりよく活用するためのコード

水色コード(ATT出力端子)

ソニー製カーオーディオでATT入力端子のあるセットに接続すると、ナビの音声ガイド時にカーオーディオの音量が自動的に下がります。この機能を使用しない場合、接続する必要はありません。

紫/白色コード(バックランプ電源コード接続用)

バックランプ電源コードに接続すると、車両がバックしたときに生じる自車位置の誤差をなくすることができます。

# 6

## 車両側と接続する(接続図全体)

**必ず接続先の機器に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。**

前ページ、「各コードの接続について」もご覧ください。

取り付ける車両の詳しい資料については、「ソニーFAXインフォメーションサービス」(裏表紙)をご利用することもできます。

本機の接続コードの色は、JEITAコードカラーに準拠しています。

ショート事故を防ぐために

作業中のショート事故防止のため、電源コード(赤色コードと黄色コード)の接続は、必ずイグニッションキーをOFFにしてすべての配線を済ませてから行ってください。

ヒューズを交換するときは、配線などをチェックして、原因を確認し適切な処理を行ってから、必ずヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。

シガーライターソケットから電源を取らないでください。

必ず付属の電源コードをお使いください。

次のコードは必ず接続してください。

接続しないと、感電や故障の原因になり、正しく動作しないことがあります。

- 若草色コードを車両側のパーキングブレーキスイッチコードに接続する。
- 黄色コードを車両側のバッテリー電源へ接続する。
- 赤コードを車両側のアクセサリ電源へ接続する。
- 黒コードを車体の金属部分へ接続する。
- 桃色コード(および桃色延長コード)を車両側の車速センサーコードに接続する。

\* 黄色と赤色コードを逆につなぐと、メモリーが消えるので注意してください。

車両側のバックランプ電源コードと車速センサーコードについて、詳しくは「ソニーFAXインフォメーションサービス」(裏表紙)をご利用になるか、お買い上げ店にご相談ください。

次のご注意を守ってください。

守らないと感電や故障の原因になり、正しく動作しないことがあります。

- 保護素子は正しい向きで取り付ける。
- 圧着式コネクターは保護素子より車両側に近い位置にする。

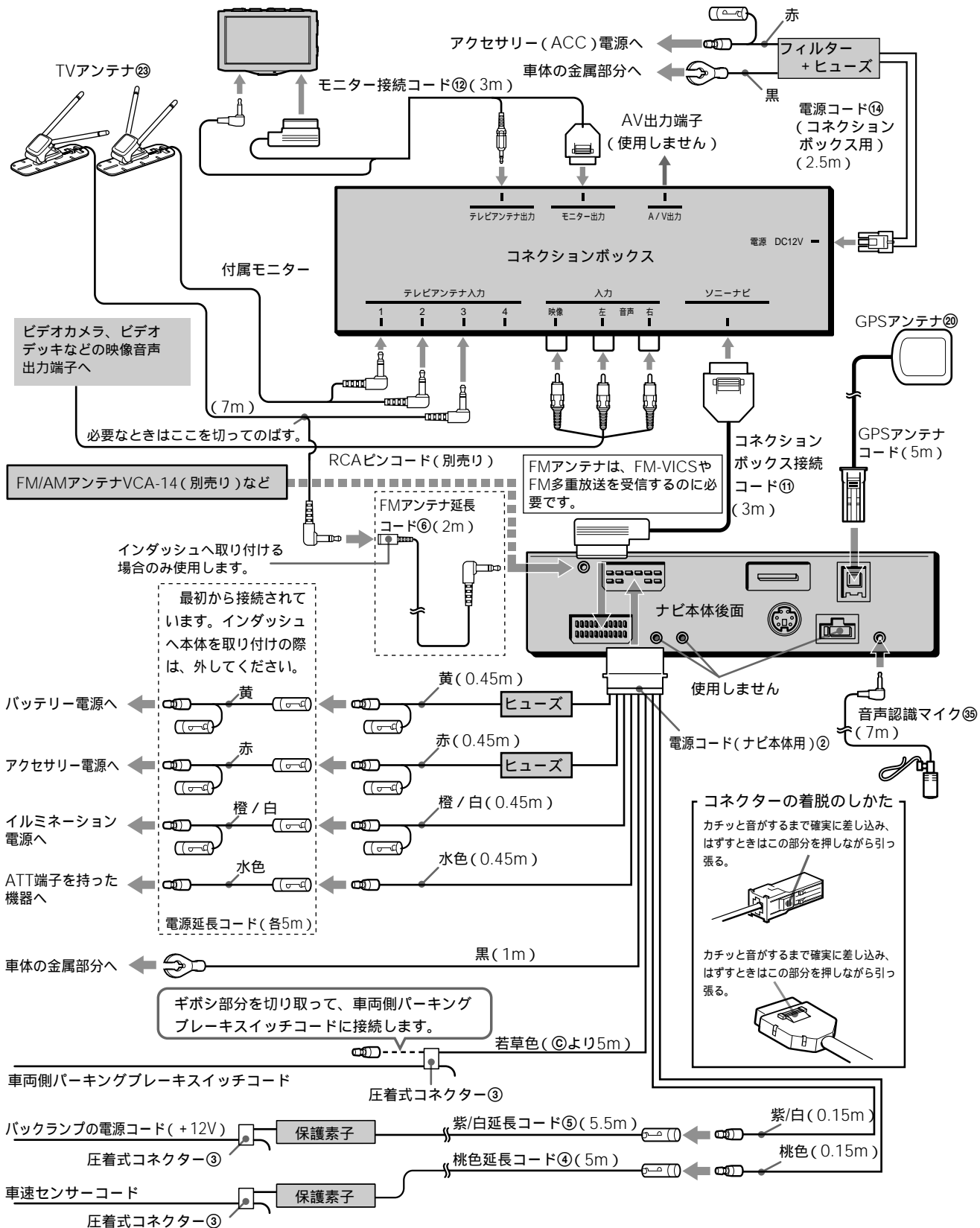
FM-VICSやFM音声多重放送を受信するためにはFMアンテナが必要です。

電波の強い地域では、TVアンテナの4系統のアンテナ入力うちの1本を使用することができます。

電波の弱い地域では、FM/AMアンテナ VCA-14(別売り)を使用してください。

### ご注意

- TVアンテナはFM/AMアンテナから離して取り付けてください。
- パーキングブレーキスイッチコードに接続しないと、ナビゲーションシステムが走行中と誤ってしまい、設定や登録などの複雑な操作やテレビ/ビデオ画像の表示ができなくなります。
- イグニッションスイッチにアクセサリポジションのない車には取り付けられません。

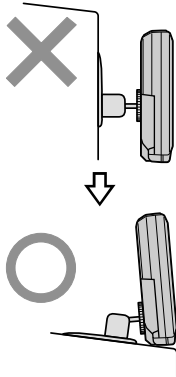


# 7

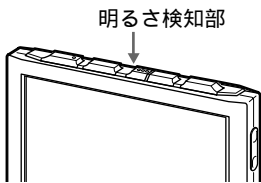
## モニターを取り付ける

### ●●● ご注意

- 助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付けてください。
- 不安定な取り付けは絶対にお避けください。走行中にはずれることがあり、大変危険です。



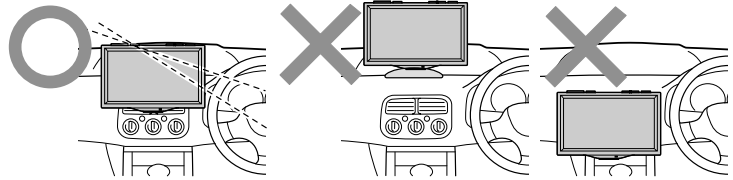
- 極端に低温または高温になる場所や(キャビネットの変形や液晶パネルの故障の原因になります。)直射日光が当たる場所を避けてください。
- モニターを取り付けるときは下記の明るさ検知部を覆ったり、ふさいだりしないよう取り付けてください。



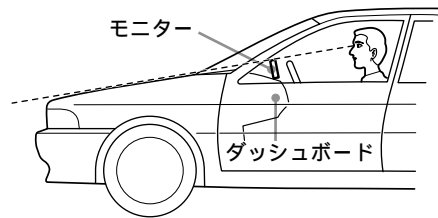
モニターは、安全性を重視して設計されておりますが、正しい位置に確実に取り付けを行わないと、事故の原因となり大変危険です。取り付ける前に、必ず下記事項の確認を行ってください。

ダッシュボードのなるべく高い位置に取り付けてください。

- 注意点：
- 前方の視野を妨げない
  - 運転中の視野移動を少なく
  - 極端に目線が下がらない



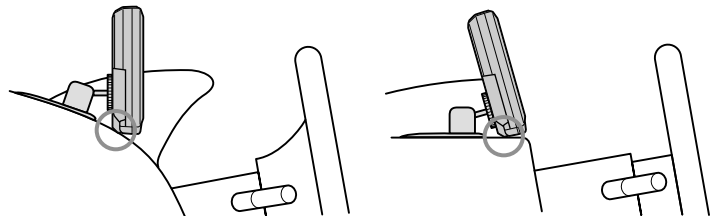
運転者から見て、ボンネットの先端よりもモニターが上に出ない位置に取り付けます。



モニターの底面がダッシュボードに接触するように取り付けてください。

ダッシュボードが曲面の場合  
モニター底面をダッシュボード  
にあてて固定する。

ダッシュボードが平面の場合  
モニター底面をダッシュボードの  
平面にあてて固定する。



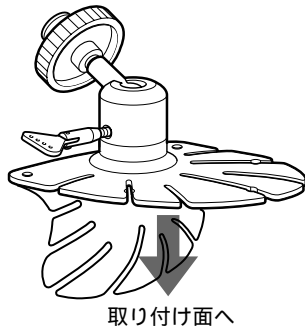
# 1 ダッシュボードの形状に合わせて、スタンド⑮を曲げる



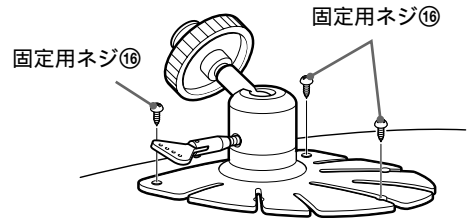
- 取り付け面の表面温度が低い(20°C以下)と両面テープの接着力が弱くなるので、ヘアドライヤーなどで温めてから貼り付けてください。また、24時間以上経ってからモニターの取り付けを行ってください。
- 取り付けたあとに両面テープをはがすと、接着力が弱くなり危険です。十分に位置を決めてから確実に取り付けてください。
- 取り外すときは、取り付け面を温めてからゆっくりはがしてください。

# 2 クリーニングクロス⑮で取り付け面の汚れを取る

# 3 両面テープのはくり紙をはがし、貼り付ける

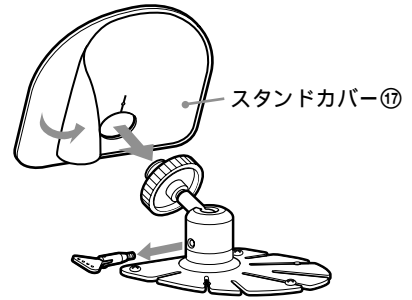


# 4 固定用ネジ⑯で固定する

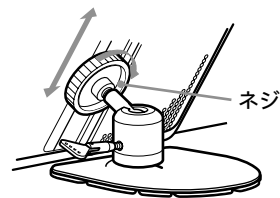


取り付けた状態でネジの先端がダッシュボード内部の配線などに当たっていないことを確認してください。

# 5 スタンドカバー⑰を接着する

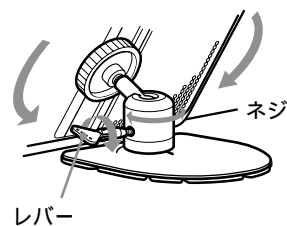


# 6 モニター背面のみぞにスタンドのネジを差し込み、高さを決める



車の振動によるぐらつきを防止するため、モニターの底面がダッシュボードにあたるように高さを調節してください。調節後はネジを締めて固定します。

# 7 レバーをゆるめて角度を調節する



調節後はレバーをしっかり締めて固定します。

## ●●● ご注意

- 取り付けるときは、車のボディを傷付けないように静かにおいてください。
- コードを車外でたるませたままにしないでください。
- コードを固定するときは、必要に応じて付属のコードクランパー<sup>⑩</sup>をご使用ください。
- 取りはずすときにコードを引っ張らないでください。磁石が強力なため、コードが抜けることがあります。
- 自動洗車機で洗車するときは、GPSアンテナを外してください。GPSアンテナが外れて車のボディを傷付けることがあります。
- GPSアンテナケーブルは、GPSの信号とGPSアンテナへの直流電源が通っています。配線にあたっては、車体可動部へのかみ込みにご注意ください。ケーブルを破損すると、GPSアンテナおよびナビ本体の故障の原因となります。

## アルミやFRPボディの車に取り付ける場合

アルミやFRPボディの車には磁石で取り付けられませんので、車内に付けてください。

## GPSアンテナの塗装について

GPSアンテナは車のボディカラーに合わせて塗装できますが、金属粉が含まれる塗料(メタリック系の塗装など)は、受信感度の低下や受信不能の原因になるため使用しないでください。また塗装するときにアンテナを分解しないでください。

## ● ちょっと言

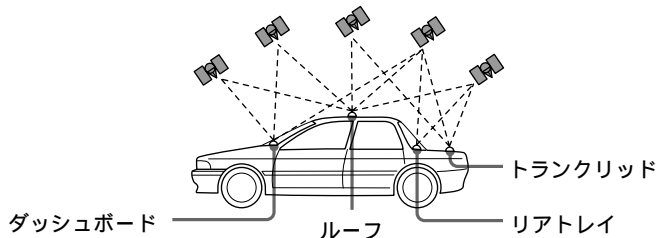
GPS衛星からの電波を遮るものがない場所を選び、できるだけ広く電波が受けられるように取り付けてください。車内に適する場所がない場合は、車外に取り付けてください。

## ●●● ご注意

一部のウィンドウガラス(フロント、リアとも)には、GPS衛星の電波を通さないものがあります。GPSアンテナを車内に取り付けて受信状態が不安定なときは、1度GPSアンテナを車外に取り付けて受信してみてください。

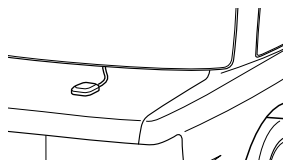
## 車外に取り付ける場合

GPSアンテナ<sup>⑩</sup>は、磁石で取り付けます。GPS衛星の電波が車のボディなどで遮られない場所(車外のルーフやトランクリッドなど)に、水平に取り付けてください。

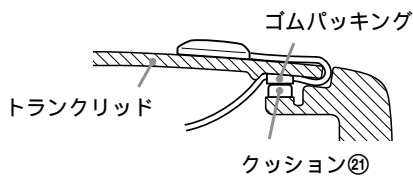


## 1 トランクリッドなどの上に取り付ける

取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。

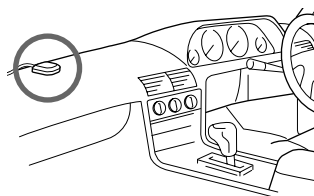
2 トランクリッドの裏側にクッション<sup>⑪</sup>を取り付ける

雨水がコードを伝って車内に侵入しないように、トランクリッドを閉めたときに、ゴムパッキングの上にクッション<sup>⑪</sup>が当たるように取り付けてください。



## 車内に取り付ける場合

ダッシュボードやリアトレイに取り付けます。平らな位置に、GPSアンテナが水平になるように取り付けてください。必ず取り付け板<sup>⑫</sup>を使用して取り付けてください。



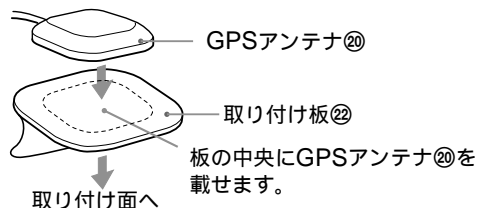


## GPSアンテナを取り付ける

### ●●● ご注意

- ダッシュボードやリアトレイなど、なるべく水平な場所に取り付けてください。
- 取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。

取り付け板⑳の中央にGPSアンテナ㉑を載せ、裏面のはくり紙をはがして取り付け面へ固定する



両面テープで貼り付ける前に、車内のインテリアやワイパーブレードの陰に隠れないよう、正しく受信できることを確認してください。

また、車両機器の動きの妨げにならないことを確認して、取り付けてください。

## 9

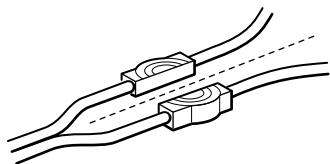
## TVアンテナを取り付ける

### ●●● ちょっ一言

クリーナー液㉓と不織布㉔で取り付け面に付着している汚れなどを拭きとってから、取り付けてください。

### ●●● ご注意

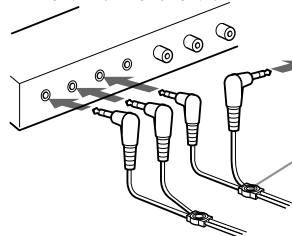
\* TVアンテナコードを切る場合、下図のように必ずコードに沿って切ってください。



### 1 TVアンテナ㉕をリヤウインドウに取り付ける

### 2 TVアンテナコードを配線し、接続する

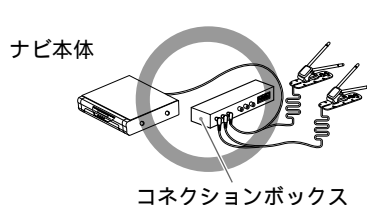
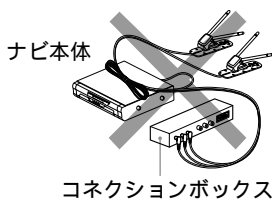
コネクションボックス



端子の1本は、ナビ本体のFMアンテナ入力へ  
(必要に応じて、FMアンテナ延長コード㉖を使用します)

必要の場合は、ここを切つてのばしてください\*

TVアンテナコードを束ねてナビ本体の近くに設置すると、ノイズが発生することがあります。コードは束ねないようにまとめ、ナビ本体からできるだけ離れた所に設置してください。



## 取り付ける前に

- 必ずリアウィンドウに取り付けてください。
- 車のラジオ用アンテナや、パーソナル無線、アマチュア無線、自動車電話などのアンテナから離してください。近くに設置すると、他のアンテナの影響を受けます。
- エレメントが車体より出ない位置を選んでください。歩行者の目などに当たるなど大変危険です。
- 湿気の高いとき（雨、霧など）は、取り付け面を十分に乾燥させてください。取り付け面に水気があると、接着力が低下し、はがれる危険があります。
- 取り付け面の温度が低いときは、接着力を上げるため、車内ヒーター、リアウィンドデフォッガー、ヘアドライヤーなどを利用し、温めてから貼り付けてください。

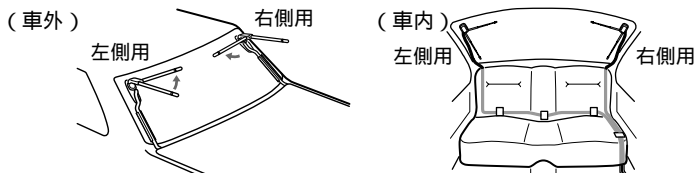
## 十分な受信感度を得られないときは

モニター本体のTVブースタースイッチを「ON」にしてください。詳しくは、「取扱説明書」の「テレビを見る」をご覧ください。

## TVアンテナの取付けについて

なるべく平らな部分に貼り付けてください。ガラスの曲面が大きいとはがれるおそれがあります。

TVアンテナの左右を確認して取り付けてください。



## TVアンテナの使いかた

TVアンテナ本体を起こしてから、エレメントAおよびBの各段をいっぱいにのばし、エレメントBを内側へ倒します。（取り付け場所によってはアンテナの性能が劣化する場合があります。）

車内に取り付ける場合、視界をさまたげないように、TVアンテナ可動部のゴムをはずして90°に広げてください。



## TVアンテナの取り付け

あらかじめ、クリーナー液⑳と不織布㉑で、貼り付け面の油やワックス、ほこりなどを拭きとっておきます。

クリーナー液が乾いたら水で洗い流し、乾いた布で乾拭きしたあと、以下の手順で取り付けてください。



## 取り付けたら

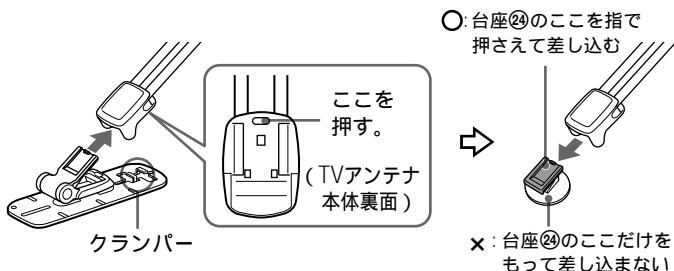
- 24時間はアンテナに水をかけた  
り、雨にあてたり、無理な力を加  
えないでください。
- 走行前に、確実に固定されている  
ことを必ず確認してください。
- 取り付け後は、取り付け状態をど  
きどき点検してください。
- アンテナ本体、エレメント、コード  
をアルコール、ベンジン、シン  
ナー、ガソリン、ワックスなどで  
拭かないでください。(変形、破損  
の原因になります。)
- 次のような場所では、映りにくく  
なります。
  1. ビルとビルの間
  2. 高圧線、送電線付近
  3. 飛行機が近くを飛んでいる場合
  4. 電車が近くを走行している場合
  5. 山中や放送局から遠い場所
  6. トンネル内
  7. ラジオ放送、アマチュア無線局  
の送信アンテナ付近

## 車内に取り付けの場合

あらかじめ、アンテナコードがTVアンテナ⑳の台座のクランパー(下図参照)に差し込まれていないか確認してください。差し込まれている場合は、必ずコードをクランパーからはずしてから、以下の手順を行ってください。

### 1 台座を車内取り付け専用の台座㉔に付け換える

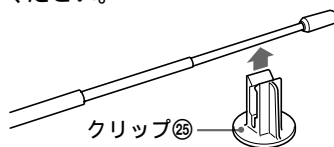
下図の台座の頭の部分(「」の部分)を指で押さえて、アンテナを差し込んでください。  
台座の貼りつけ部分(「×」の部分)だけを持ってアンテナを差し込むと、台座を破損するおそれがあります。



カチリと音がするまで差し込んでください。

### 2 アンテナの先端にクリップ㉕を取り付ける

アンテナを引き伸ばして、先端のプラスチックの根元の金属部分に取り付けてください。



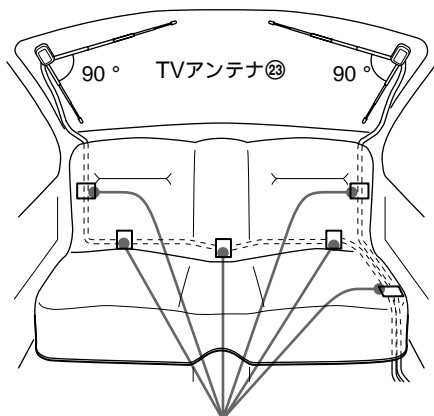
### 3 台座㉔とクリップ㉕のはくり紙をはがし、取り付け面に貼り付ける

接着面に手を触れたり、貼り直しをすると接着力が低下しますのでご注意ください。

## TVアンテナコードをまとめる

### ●●● ご注意

- 左右のTVアンテナは、できるだけ長くのばしてください。  
ただし、左右のTVアンテナが、お互いに重なったり接触しないようにしてください。
- 視界をさまたげないように、TVアンテナ可動部のゴムをはずして90°に広げてください。(「TVアンテナの取り付けについて」18ページ参照)
- 車内取り付け専用の台座㉔は、貼り付け部分だけをもって付け換えないでください。台座を破損することがあります。



シート下にテープで固定する

# 10

## 音声認識用マイクを取り付ける

コードを固定するときは、付属のコードクランパー⑳をご使用ください。

●●● ご注意

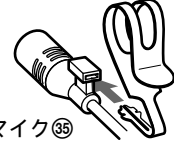
音声認識マイクコードを通すとき、一部のエアバックシステムや衝撃を吸収する構造などの場合は、お買い上げ店または車両の販売店にご相談ください。

1

### マイククリップ⑳を取り付ける

音声認識用マイク㉕の後ろ側から、「カチッ」と音がするまで差し込みます。

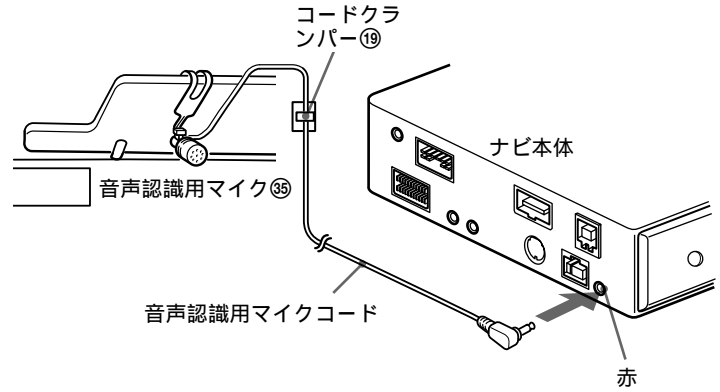
マイククリップ⑳



音声認識用マイク㉕

2

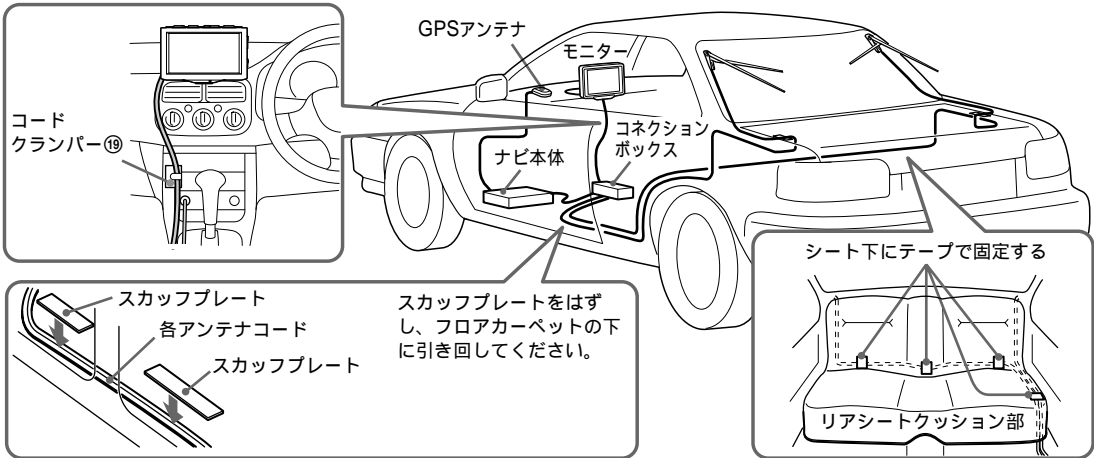
### サンバイザーに取り付け、ナビ本体に接続する



# 11

## コードを処理する

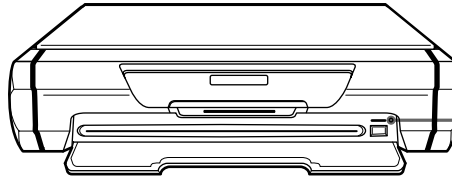
取り付けと接続が終わったら、コードは運転の妨げにならないようにまとめてください。コードがシフトレバーなどにかからまると、非常に危険です。また、モニター接続コード㉔は、ナビ本体からできるだけ離してください。近くに設置すると、テレビ画面にノイズが発生することがあります。



## 1 車のエンジンをかける

## 2 ブレーキランプやライト、ホーン、ウinkerなど、すべての電装品が正しく動作することを確認する

## 3 モニターの電源を入れ、ナビ本体のリセットボタンをつまようじの先などで押す



リセットボタン  
必ず車のエンジンを  
かけてから、つまよ  
うじの先などで押し  
てください。

リセットボタンを押すと、ナビのオープニング画面がモニターに映り、ナビが立ち上がります。

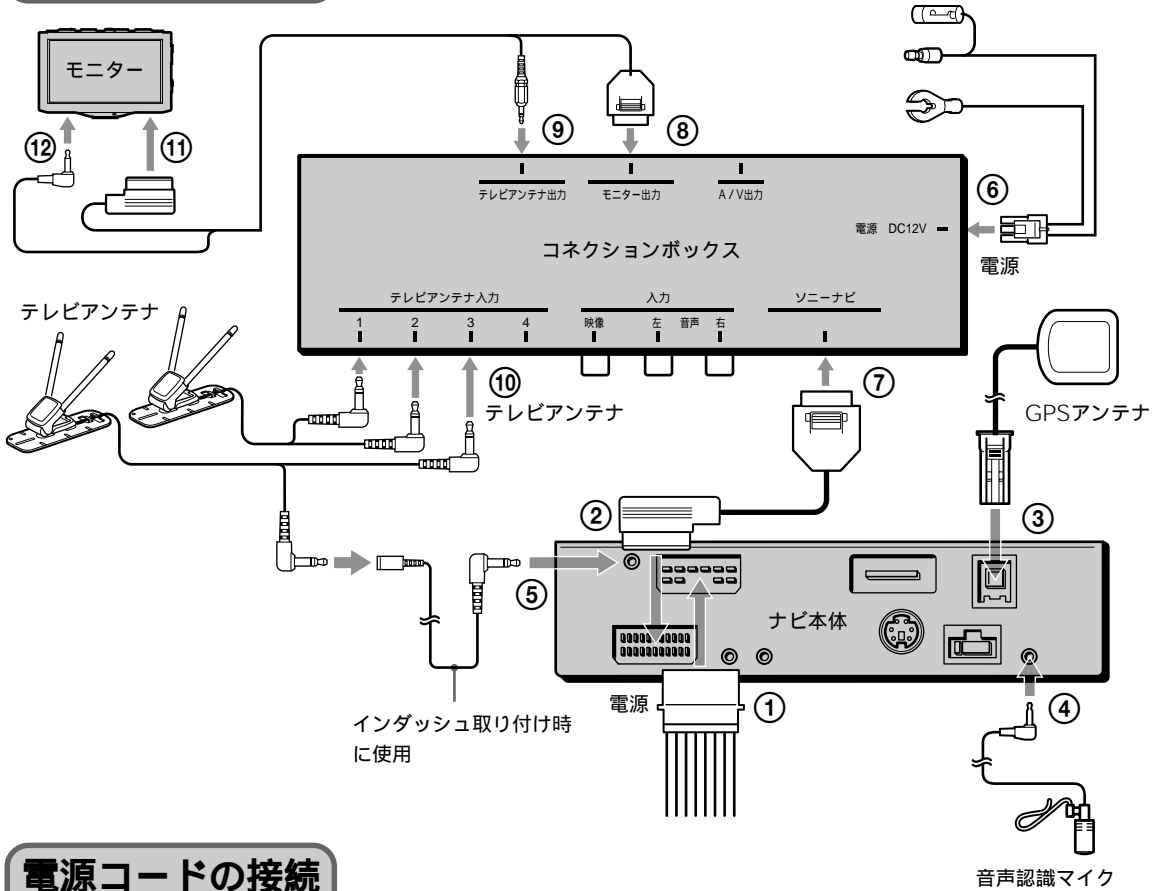
## 4 地図ディスクを入れる

## 故障かな？と思ったら

症状	原因および処置
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>バッテリー電源(+BAT)、アクセサリ電源(+ACC)、アース(GND)が正しく接続されていない。「電源コードの接続ポイント」(次ページ)を参照し、接続を確認してください。</li> <li>各コネクタが確実に差し込まれていない。「コネクタ接続のチェックポイント」(次ページ)を参照し、12か所の接続ポイントをすべて確認してください。</li> <li>モニターの電源がOFFになっている。モニターのPOWERボタンを押してください。(本体の取扱説明書を参照してください。)</li> </ul>
テレビが映らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>テレビアンテナが接続されていない。テレビアンテナを接続してください。(17ページ参照)</li> <li>コネクションボックスとモニター間のコードが接続されていない。「コネクタ接続のチェックポイント」(次ページ)を参照し、モニター接続コードを接続してください。</li> </ul>
VICS情報が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>ナビ本体にFMアンテナを接続していない。FMアンテナを接続してください。(8,12~13ページ参照)</li> </ul>

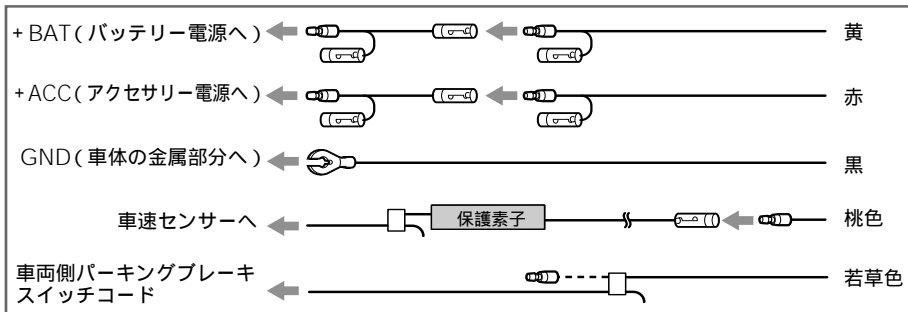
## コネクター接続の チェックポイント

合計12か所の接続ポイントがあります。

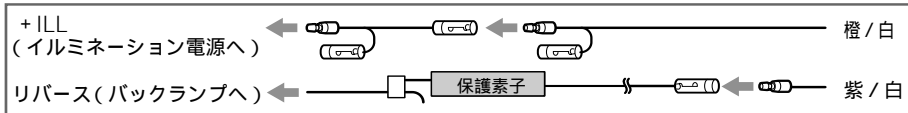


## 電源コードの接続 ポイント

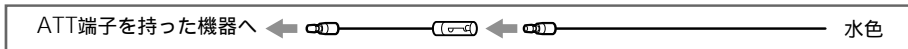
### ナビゲーション電源



必ず接続して  
ください。

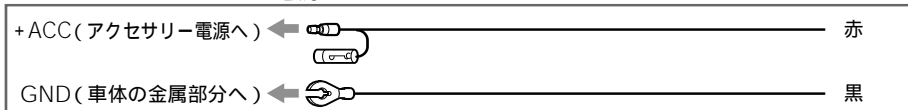


接続すること  
をおすすめします。



必要の場合は  
接続してください。

### コネクションボックス電源



必ず接続して  
ください。

## ソニーFAXインフォメーションサービスのご案内( FAX付電話でご利用になれます )

### カーフィッティングFAXサービス

車種メーカー、車種・車種形式別のカーオーディオ部の取り外し方法、  
各種センサー位置等の資料

- インデックスの入手 / 03-3552-7209 → 車種メーカー別のBOX番号を受信
- 資料請求 / 03-3552-7488 → アナウンスに従いご希望の車種の該当BOX番号を入力してください。

24時間  
お手元のFAXで  
資料が取り出せます

- ソニーFAXインフォメーションサービスをご利用の際のインデックス入手料・資料請求は通話料のみお客様のご負担となります。またFAXの機能によっては受信できない場合があります。
- FAXサービスのメンテナンス日は 毎月第2木曜日 午前8:00～午後11:00となっております。ご迷惑をおかけしますが、当日前記時間帯は資料を取り出すことはできません。ご了承ください。(第2木曜日が祭日の場合は前日の水曜日をメンテナンス日とさせていただきます。)

### ご案内

ソニーではお客様技術相談窓口として

「テクニカルインフォメーションセンター」

を開設しています。

お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときの相談は下記までお問い合わせください。

テクニカルインフォメーションセンター

電話：048-794-5194

受付時間：月～金 9:00～18:00

(祝日、年末年始、弊社休日を除く)

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名
- 故障状態：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客さま相談センターへ

● ナビダイヤル……………  0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでのご利用は… 03-5448-3311

● Fax ……………… 0466-31-2595

受付時間：

月～金

9:00～

20:00、

土・日・祝日

9:00～

17:00

この説明書は再生紙を使用しています。



\* 1 - 3 - 2 2 3 1 - 2 9 8 - 0 1 \* (2)